

キリスト教〈キリスト教〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
キリスト教と文化	①/②	11117	Ⅲ	春/秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
尾崎 秀夫	選択	2			

授業の到達目標

とりわけ日本では宗教を非科学的なもの、科学と対立するものとの考えが根強い。キリスト教に关しても、教会は科学の発達に反対の立場をとってきたと考えられている。本講義では、キリスト教と科学の関係について再検討する。この授業ではE（倫理）に重点を置く。

授業の概要

まず、聖書と科学の関係を考察する。聖書、たとえば旧約聖書の冒頭部分などは現代の科学で否定されているが、キリスト教はそれをどのように考えてきたのであろうか。次に地動説の出現に対してキリスト教がどのように対応したかを考察する。一般に、キリスト教は新しい考えに否定的で、それを弾圧したとされるが、コペルニクスやガリレオなどに対する教会の対応を検討する。

授業計画

1. 導入
2. 聖書と歴史
3. 出エジプトと歴史研究(1)
4. 出エジプトと歴史研究(1)
5. 古代における宇宙観
6. 古代における天動説と地動説
7. 中世における天動説
8. コペルニクス(1)
9. コペルニクス(2)
10. ジョルダン・ブルーノの地動説
11. ガリレオ・ガリレイ(1)
12. ガリレオガリレイ(2)
13. 科学の発達とキリスト教
14. 聖骸布
15. まとめ

授業の方法

講義を中心に、意見を求めたり、話し合いを取り入れたりする。

準備学修

地動説について復習しておくこと。準備学修には、参考文献を読むことなどで60時間以上を必要とする。

課題・評価方法

平常点30%、定期試験70%

欠席について

5回を超える欠席者には受験資格を認めない。

テキスト

とくに定めない。

留意事項

講義中の私語は禁止する。授業の途中での退出も原則として禁じる。途中退出は遅刻、15分を超える場合は欠席とみなす。

基礎〈基礎〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
基礎演習Ⅰ	ET①/ET②/ET③/ET④	11201	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
石原 敬子/宮副 紀子/佐伯 瑠璃子/吉野 美智子	必修	1			

授業の到達目標

この授業では、大学入学以前に学んだことを復習するとともに、大学で必要なスキル等について学ぶ。この授業では、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とS（奉仕）を養う。

授業の概要

前半では、高校以前に学んだことを復習する。基礎学力は大学での学修でも、あるいは卒業後の生活でも必要である。すでに理解していることは確認し、忘れていたことはしっかりと思い出して欲しい。後半では、大学での学修に必要なアカデミック・スキルを学ぶ。また基礎演習後半のクラスが、1年次のクラスとなるので、しっかりと人間関係を築いて欲しい。

授業計画

1. (1)オリエンテーション
- (2)言語1
2. (1)言語2
- (2)オリエンテーション(図書館)
3. 春学期での目標設定。
4. (1)言語3
- (2)留学発表
5. (1)言語4
- (2)レポート作成:レポート、段落について。
6. (1)社会1
- (2)レポート作成:段落とは。
7. (1)社会2
- (2)レポート作成:直接引用のやり方。
8. (1)社会3
- (2)レポート作成:直接引用のやり方。参考文献の様式。
9. (1)社会4
- (2)レポート作成:参考文献の様式。表紙の様式。
10. (1)数学1
- (2)レポート作成:学生同士で交換し、互いのレポート草稿の添削を行う。
11. (1)数学2
- (2)レポート作成:学生同士で交換し、互いのレポート草稿の添削を行う。
12. (1)数学3

(2)啓発活動

13. (1)数学4
- (2)「ホスピタリティ研修」の事前指導
14. (1)確認試験1
- (2)レポート作成:教員からの添削をもとにレポートを完成する。
15. (1)確認試験2
- (2)教員からの添削をもとにレポートを完成し、提出する。

授業の方法

演習形式
後半は言語活動、クラス討議や研修を行う

準備学修

テキストでしっかり予習・復習すること。eラーニングで学ぶこと。準備学修には60時間以上かけること。

課題・評価方法

平常点70%、定期試験30%

欠席について

3分の1以上欠席した者には受験資格を認めない。

テキスト

一般常識リメディアルテキスト（育伸社）

留意事項

リメディアル学習の確認試験では、原則として80点以上をとらなければ不合格とする。欠席1回につき合格点は1点上がる。eラーニングを課題とし、指定された箇所まで進んでいなければ単位を認めない。教学カルテも評価対象とする。

教員連絡先

ozaki@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲掲示板を確認のこと。

基礎〈基礎〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
基礎演習Ⅰ	PC①/PC②/PC③/PC④		11201	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
石畠 多恵／森 晴美／中園 佐恵子／渋谷 美智	必修	1				

授業の到達目標
この授業では、大学入学以前に学んだことを復習するとともに、大学で必要なスキル等について学ぶ。この授業では、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とS（奉仕）を養う。

授業の概要
前半では、高校以前に学んだことを復習する。基礎学力は大学での学修でも、あるいは卒業後の生活でも必要である。すでに理解していることは確認し、忘れていたことはしっかりと思い出して欲しい。後半では、大学での学修に必要なアカデミック・スキルを学ぶ。大学の授業で必要なこと、そして卒業後社会人として役立つことなどを身に付けていく。また基礎演習後半のクラスが、1年次のクラスとなるので、人間関係を築いて欲しい。

授業計画

- (1)オリエンテーション(大学生としての姿勢)
(2)言語1
- オリエンテーション(図書館の利用方法について)
- (1)言語2
(2)オリエンテーション(本学の学生としての姿勢)
- (1)言語3
(2)キャンパスライフ(クラスでの自己紹介)
- (1)言語4
(2)キャンパスライフ(相談)
- (1)社会1
(2)キャンパスライフ(課外活動について)
- (1)社会2
(2)キャンパスライフ(課外活動について)
- (1)社会3
(2)キャンパスライフ(課外活動)
- (1)社会4
(2)スタディスキル(受講)
- (1)数学1
(2)スタディスキル(理解と表現1)
- (1)数学2
(2)スタディスキル(理解と表現2)
- (1)数学3
(2)キャンパスライフ(今後の学修について)

- (1)数学4
(2)キャンパスライフ(学生相談)
- (1)確認試験1
(2)スタディスキル(理解と表現3)
- (1)確認試験2
(2)スタディスキル確認演習

授業の方法
演習形式

準備学修
webで参照すること。

課題・評価方法
リメディアル 50% (平常点70% 定期試験30%)
後半学習50% (平常点70% eラーニング30%)

欠席について
3分の1以上欠席した者には受験資格を認めない。

テキスト
一般常識リメディアルテキスト (育仲社)
3訂 大学 学びのことはじめ～初年次セミナーワークブック (ナカニシヤ出版)

留意事項
リメディアル学習の確認試験では、原則として80点以上をとらなければ不合格とする。欠席1回につき合格点は1点上がる。eラーニングを課題とし、実力診断テスト10クリアすることとする。

教員連絡先
ozaki@kaisei.ac.jp

オフィスアワー
直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

基礎〈基礎〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
基礎演習Ⅱ	ET①/ET②/ET③/ET④		11205	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
石原 敬子／宮副 紀子／佐伯 瑠璃子／吉野 美智子	必修	1				

授業の到達目標
この授業では、大学入学以前に学んだことを復習するとともに、大学で必要なスキル等について学ぶ。この授業では、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とS（奉仕）を養う。

授業の概要
前半では、高校以前に学んだことを復習する。基礎学力は大学での学修でも、あるいは卒業後の生活でも必要である。すでに理解していることは確認し、忘れていたことはしっかりと思い出して欲しい。後半では、大学での学修に必要なアカデミック・スキルを学ぶ。また基礎演習後半のクラスが、1年次のクラスとなるので、しっかりと人間関係を築いて欲しい。

授業計画

- (1)言語1
(2)今学期の目標を設定する。
- (1)言語2
(2)共同作業:大学祭での企画立案と実施。
- (1)言語3
(2)共同作業:大学祭での企画立案と実施。
- (1)言語4
(2)共同作業:大学祭での企画立案と実施。
- (1)社会1
(2)共同作業:大学祭での企画立案と実施。
- (1)社会2
(2)レポート作成:参考文献様式の復習。
- (1)社会3
(2)レポート作成:参考文献様式の復習と間接引用のやり方。
- (1)社会4
(2)レポート作成:間接引用のやり方。要約とは。
- (1)数学1
(2)レポート作成:要約をする。
- (1)数学2
(2)レポート作成:学生同士で交換し、互いのレポート草稿の添削を行う。
- (1)数学3
(2)レポート作成:学生同士で交換し、互いのレポート草稿の添削を行う。

- (1)数学4
(2)Kaisei English and Tourism Festival
- (1)確認試験1
(2)レポート作成:学生同士で交換し、互いのレポート草稿の添削を行う。
- (1)確認試験2
(2)レポート作成:教員からの添削をもとにレポートを完成する。
- (1)確認試験3
(2)教員からの添削をもとにレポートを完成し、提出する。

授業の方法
演習形式

準備学修
テキストでしっかり、予習・復習すること。eラーニングを活用すること。準備学習には60時間以上かけること。

課題・評価方法
平常点70%、定期試験30%

欠席について
3分の1以上欠席した者には受験資格を認めない。

テキスト
一般常識リメディアルテキスト (育仲社)

留意事項
リメディアル学習の確認試験では、原則として80点以上を盗らなければ不合格とする。欠席1回につき、合格点を1点上げる。eラーニングを課題とし、指定された箇所まで進んでいなければ単位を認めない。教学カルテも評価対象とする。

教員連絡先
ozaki@kaisei.ac.jp

オフィスアワー
直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習 I	c		13101	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
箕野 聡子	必修	2				

授業の到達目標

観光とは、ただ、視覚的に資源を披露することではない。訪れる側と迎える側とが、それぞれの地域や人を理解し合うことである。その理解の中心となる文化について研究し、観光が平和産業と呼ばれている理由を知る。このクラスはKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）とを養う。

授業の概要

日本の文化・文学が観光資源としてどのように受容され、また、再生・活用されているかを考える。文学・歴史・風俗習慣など、各自が興味あるテーマを選び研究することで、その文化を国外に、また、国内に紹介する意義を考察する。

授業計画

1. ガイダンス
2. 個人課題の研究発表・討論・講評
3. 個人課題の研究発表・討論・講評
4. 個人課題の研究発表・討論・講評
5. 個人課題の研究発表・討論・講評
6. 個人課題の研究発表・討論・講評
7. 個人課題の研究発表・討論・講評
8. 個人課題の研究発表・討論・講評
9. 個人課題の研究発表・討論・講評
10. 個人課題の研究発表・討論・講評
11. 個人課題の研究発表・討論・講評
12. 個人課題の研究発表・討論・講評
13. 個人課題の研究発表・討論・講評
14. 個人課題の研究発表・討論・講評
15. 個人課題の研究発表・討論・講評

授業の方法

各人が興味を持ったテーマで発表を行い、それをメンバー全員で討議する。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法

出席状況（30%）、発表（30%）、レポート（40%）により評価する。提出されたレポートは、教員が指導してフィードバックする。

欠席について

規定に従う

テキスト

必要に応じて配布する

参考図書

必要に応じて紹介する

教員連絡先

mino@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習 I	d		13101	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	必修	2				

授業の到達目標

英米児童文学の原書を読解する英語力を養い、英米児童文学の鑑賞眼を養う。演習で学んだことをまとめて発表する。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）、In（国際性）を養う。

授業の概要

英米児童文学の代表的な作品を読解する。まず比較的読みやすい"The Wonderful Wizard of Oz"を読解後、それぞれの考えをまとめて発表する。1作目以降については、学生の要望を取り入れながら関連する他の作品を読解し、それぞれのアダプテーション作品についても考察する。

授業計画

1. イントロダクション
2. "The Wonderful Wizard of Oz" Chapter 1 ~ Chapter 2
3. "The Wonderful Wizard of Oz" Chapter 3 ~ Chapter 5
4. "The Wonderful Wizard of Oz" Chapter 6 ~ Chapter 8
5. "The Wonderful Wizard of Oz" Chapter 9 ~ Chapter 12
6. "The Wonderful Wizard of Oz" Chapter 13 ~ Chapter 16
7. "The Wonderful Wizard of Oz" Chapter 17 ~ Chapter 20
8. "The Wonderful Wizard of Oz" Chapter 21 ~ Chapter 24
9. "The Wonderful Wizard of Oz" の総まとめ
10. The Wonderful Wizard of Oz と Alice's Adventures in Wonderland を比較する。
11. The Wonderful Wizard of Oz と Alice's Adventures in Wonderland を比較する。
12. The Wonderful Wizard of Oz と Alice's Adventures in Wonderland を比較する。
13. The Wonderful Wizard of Oz と Alice's Adventures in Wonderland を比較する。
14. The Wonderful Wizard of Oz と Alice's Adventures in Wonderland を比較する。
15. 総まとめ

授業の方法

講義後、各自が内容について調べて、グループディスカッションの

後に発表をする。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法

平常点(発表を含む) 50%、定期試験 50%

課題のフィードバックは授業中に行う。発表は、授業内で口頭、またはメモによりフィードバックする。

欠席について

規定に従う。

テキスト

L. Frank Baum. "The Wonderful Wizard of Oz" Dover Children's Evergreen Classics
ハンドアウトを使用する。

参考図書

必要に応じて指示する。

留意事項

授業は積極的に参加すること。授業には必ず辞書を持参すること。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅱ	c		13105	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
箕野 聡子	必修	2				

授業の到達目標

観光とは、ただ、視覚的に資源を披露することではない。訪れる側と迎える側とが、それぞれの地域や人を理解し合うことである。その理解の中心となる文化について研究し、観光が平和産業と呼ばれている理由を知る。このクラスはKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）とを養う。

授業の概要

日本の文化・文学が観光資源としてどのように受容され、また、再生・活用されているかを考える。文学・歴史・風俗習慣など、各自が興味あるテーマを選び研究することで、その文化を国外に、また、国内に紹介する意義を考察する。

授業計画

1. 個人課題の研究発表・討論・講評
2. 個人課題の研究発表・討論・講評
3. 個人課題の研究発表・討論・講評
4. 個人課題の研究発表・討論・講評
5. 個人課題の研究発表・討論・講評
6. 個人課題の研究発表・討論・講評
7. 個人課題の研究発表・討論・講評
8. 個人課題の研究発表・討論・講評
9. 個人課題の研究発表・討論・講評
10. 個人課題の研究発表・討論・講評
11. 個人課題の研究発表・討論・講評
12. 個人課題の研究発表・討論・講評
13. 個人課題の研究発表・討論・講評
14. 個人課題の研究発表・討論・講評
15. 個人課題の研究発表・討論・講評

授業の方法

各人が興味を持ったテーマで発表を行い、それをメンバー全員で討議する。

準備学修

Web参照すること。

課題・評価方法

出席状況（30％）、発表（30％）、レポート（40％）により評価する。提出されたレポートは、教員が指導してフィードバックする。

欠席について

規定に従う

テキスト

必要に応じて配布する

参考図書

必要に応じて紹介する

教員連絡先

mino@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅱ	d		13105	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	必修	2				

授業の到達目標

前期に学んだ内容を基礎に、学生の関心の高い英米の児童文学作品の原書を読み、英文の読解力を向上させる。また、選んだ作品についてのテーマを考察し、まとめて発表する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA(自律)、I(知性)、In(国際性)を養う。

授業の概要

前期に学んだ2作品に何らかの関連性を持つ作品を選び、原書を読解し、グループでテーマを設定して、そのテーマについて調べて考察する。その後、授業内で発表とディスカッションを行う。

授業計画

1. 前期に学んだ英米児童文学に何らかの関連性をもつ作品より、研究対象となる1作品とそのテーマの選定。
2. 研究対象の1作品の原書講読と担当グループの発表
3. 研究対象の1作品の原書講読と担当グループの発表
4. 研究対象の1作品の原書講読と担当グループの発表
5. 研究対象の1作品の原書講読と担当グループの発表
6. 研究対象の1作品の原書講読と担当グループの発表
7. 研究対象の1作品の原書講読と担当グループの発表
8. 研究対象の1作品の原書講読と担当グループの発表
9. 研究対象の1作品の原書講読と担当グループの発表
10. 研究対象の1作品の原書講読と担当グループの発表
11. 研究対象の1作品の原書講読と担当グループの発表
12. 取り上げた英米児童文学小説のアダプテーション作品(映画、演劇、ミュージカルなど)の考察
13. 取り上げた英米児童文学小説のアダプテーション作品(映画、演劇、ミュージカルなど)の考察
14. 研究発表の準備
15. 研究成果の発表

授業の方法

講義後、各自が原書講読をし、グループで取り上げた作品について調べて考察後、まとめて発表する。

準備学修

Webを参照すること。

課題・評価方法

発表(レポート含む)30%、平常点20%、定期試験50%
課題のフィードバックは授業中に行う。発表は、授業内で口頭、またはメモによりフィードバックする。

欠席について

規定に従う。

テキスト

Lewis Carroll/丸橋良雄・伊藤佳代子 『不思議の国のアリス』英光社
その他は授業中に指示する。
ハンドアウトを使用する。

参考図書

必要に応じて指示する。

留意事項

授業は積極的に参加すること。授業には必ず辞書を持参すること。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Reading 101	101-2/101-3/101-4	13903	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
佐伯 瑠璃子／宮副 紀子／和泉 有香	必修	1			

授業の到達目標

Locate and understand main ideas and details, Show increasing ability to understand readings using skills such as skimming, scanning, and pronoun reference. Write main idea sentences. Express opinions about readings. Develop intelligence and autonomy.

授業の概要

The purpose of this class is to develop vocabulary skills and reading, including skimming and scanning, taking notes, predicting, and cause and effect.

授業計画

1. Introduction
2. Chapter 1 Popular Sports
3. Chapter 1 Popular Sports
4. Chapter 2 Healthy Eater
5. Chapter 2 Healthy Eater
6. Chapter 3 Dream Home
7. Chapter 3 Dream Home
8. Mid Term
9. Chapter 4 Greetings
10. Chapter 4 Greetings
11. Chapter 5 City Without Oil
12. Chapter 5 City Without Oil
13. Chapter 6 Can't Please Everyone
14. Chapter 6 Can't Please Everyone
15. Review

授業の方法

Students will work individually, in pairs and in groups

準備学修

Be familiar with the textbooks: preview and review

課題・評価方法

Your final grade will be determined using the following scale:

Final Exam 40%
Tests and Quizzes 30%
Class Participation 20%
Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Oxford Select Readings Elementary, 2nd edition. Linda Lee
Oxford Bookworms The Monkey's Paw by W.W. Jacobs

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Reading 101	101-5	13903	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
吉野 美智子	必修	1			

授業の到達目標

Locate and understand main ideas and details, Show increasing ability to understand readings using skills such as skimming, scanning, and pronoun reference. Write main idea sentences. Express opinions about readings. Develop intelligence and autonomy.

授業の概要

The purpose of this class is to develop vocabulary skills and reading, including skimming and scanning, taking notes, predicting, and cause and effect through extensive reading.

授業計画

1. Introduction
2. Instant Book Report
3. Where's the Drama?
4. Reading the Same Book with the Class
5. What Next?
6. Quick Book Report Forms
7. Reading the Same Book with the Class
8. Character by the Letter
9. Favorite Quotation
10. Reading the Same Book with the Class
11. Timed Repeated Readings
12. One a Day
13. Reading the Same Book with the Class
14. The 4/3/2 Technique
15. Review

授業の方法

Students will work individually, in pairs and in groups

準備学修

Be familiar with the textbooks: preview and review

課題・評価方法

Your final grade will be determined using the following scale:

Book Report 30%
Tests and Quizzes 30%
Class Participation 30%
Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Books for extensive reading of the college library.

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

教員連絡先

yoshino@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Oral Communication 200	200-5	13909	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
Angus HALL	必修	1			

授業の到達目標

The course will develop a sense of internationality and autonomy.

授業の概要

The purpose of this class is to develop both listening and speaking skills in a variety of situations. Some specific topics of discussion may include jobs, cultures, vacations, comedy, sports, feelings, and weather.

授業計画

1. Introduction
2. Unit 3 Going Places
3. Unit 3 Going Places
4. Unit 3 Going Places
5. Unit 3 Going Places
6. Review
7. Presentations
8. Mid Terms
9. Unit 4 Around Town
10. Unit 4 Around Town
11. Unit 4 Around Town
12. Unit 4 Around Town
13. Review
14. Presentations
15. Presentations

授業の方法

Students will work individually, in pairs and in groups

準備学修

Be familiar with the textbook: preview and review

課題・評価方法

Your final grade will be determined using the following scale:
Final Exam 20%
Tests and Quizzes 10%

Presentations 40%
Class Participation 20%
Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Longman Cutting Edge Starter, 3rd ed. Sarah Cunningham, Chris Redston with Peter Moor

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Reading 201	201-1春/201-2/201-3/201-4	13911	I	春/秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
惣谷 美智子/宮副 紀子/佐伯 瑠璃子/和泉 有香	必修	1			

授業の到達目標

This class will develop a sense of internationality, intelligence and autonomy.

授業の概要

The purpose of this class is to develop vocabulary skills and reading, including skimming and scanning, taking notes, predicting, and word forms.

授業計画

1. Introduction
2. Chapter 8 Denmark Loves Bicycles
3. Chapter 8 Denmark Loves Bicycles
4. Chapter 9 A Passion for Cooking
5. Chapter 9 A Passion for Cooking
6. Chapter 10 Travel More, Spend Less
7. Chapter 10 Travel More, Spend Less
8. Mid Term
9. Chapter 11 A Very Able Man
10. Chapter 11 A Very Able Man
11. Chapter 12 Protecting Cultural Traditions
12. Chapter 12 Protecting Cultural Traditions
13. Chapter 13 Emergency in the Air
14. Chapter 13 Emergency in the Air
15. Review

授業の方法

Students will work individually, in pairs and in groups

準備学修

Be familiar with the textbooks: preview and review

課題・評価方法

Your final grade will be determined using the following scale:
Final Exam 40%
Tests and Quizzes 30%

Class Participation 20%
Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Oxford Select Readings Elementary, 2nd edition. Linda Lee
Oxford Bookworms A Little Princess by Hodgson Burnett retold by Jennifer Bassett

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

基礎科目〈コア・イングリッシュ〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Grammar 303	303-1秋/303-2/303-3/303-4	13923	I/II	秋/春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
宮副 紀子/木下 奈美/後藤 江里	必修	2			

授業の到達目標

In this class, students will develop a sense of internationality, intelligence and autonomy.

授業の概要

Upon completion, learners will be able to comprehend and use modals of certainty, necessity, polite requests, expectations and suggestions, and advisability.

授業計画

1. Introduction
2. Chapter 9 (Modals, Part1) Basic Modal introduction
3. Chapter 9 Expressing Necessity
4. Chapter 9 Advisability
5. Chapter 9 Suggestions, Expectation
6. Chapter 9 Ability
7. Chapter 9 Possibility
8. Mid Term
9. Chapter 9 Requests and Responses with Modals, Polite Request
10. Chapter 9 Making Suggetions
11. Chapter 10 (Modals, Part2) Expressing the Past
12. Chapter 10 Modals of Certainty: Present Time
13. Chapter 10 Modals of Certainty: Past and Future
14. Chapter 10 Expressing Preference
15. Review

授業の方法

Students will work in groups and individually

準備学修

Be familiar with the textbook: preview and review

課題・評価方法

Your final grade will be determined using the following scale:
Final Exam 40%

Tests and Quizzes 30%
Class Participation 20%
Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Pearson Understanding and Using English Grammar, 5th edition.
B.A. Azar & S.A. Hagen

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

基礎科目〈コア・イングリッシュ〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Grammar 303	303-5	13923	II	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
和泉 有香	必修	2			

授業の到達目標

In this class, students will strengthen their sense of internationality and autonomy.

授業の概要

Upon completion, learners will be able to comprehend and use past progressive, comparatives, and superlatives

授業計画

1. Introduction
2. Chapter 8 Past Time, Part 1
3. Chapter 8 Past Time, Part 1
4. Chapter 9 Past Time, Part 2
5. Chapter 9 Past Time, Part 2
6. Chapter 9 Past Time, Part 2
7. Review
8. Mid Term
9. Chapter 15 Comparatives and Superlatives
10. Chapter 15 Comparatives and Superlatives
11. Chapter 15 Comparatives and Superlatives
12. Chapter 15 Comparatives and Superlatives
13. Chapter 15 Comparatives and Superlatives
14. Chapter 15 Comparatives and Superlatives
15. Review

授業の方法

Students will work in groups and individually

準備学修

Be familiar with the textbook: preview and review

課題・評価方法

Your final grade will be determined using the following scale:
Final Exam 40%
Tests and Quizzes 30%
Class Participation 20%

Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Pearson, Basic English Grammar, 4th edition. B.S. Azar & S.A. Hagen

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

基幹科目〈英語・言語・文化〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語学概論			13713	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
佐伯 瑠璃子	選択	2				

授業の到達目標

本講義は英語の成り立ちや英語の仕組みを幅広く理解することを目的とし、英語を科学的にひもといていく。KAISEIパーソナリティーのIn(国際性)を養うと同時に、より理解を深めるためのグループワークを通してK(思いやり)を学ぶ。

授業の概要

英語学の分野で取り扱われている研究領域全体を次の授業計画に従って概観する。英語が人と歩んできた歴史とその今、語や文の構造や仕組み、英語が伝える意味について講義をする。基本的に講義形式をとるが、より深い理解のため、様々な理論を踏まえながらグループワークやディスカッションを通して考える。

授業計画

1. オリエンテーション 授業の進め方や履修条件、言語学研究の概説を行います。
2. 英語史(1) 英語の成り立ちから現在までの歴史を概観、古期英語
3. 英語史(2) 中期英語・近代英語
4. 世界の中の英語 世界で使用される英語、現在の国際共通語として使用されている英語
5. 音韻論(1) 発音する際の身体の器官、英語の音の構造
6. 音韻論(2) 英語の音の構造
7. 形態論(1) 分野の概観
8. 形態論(2) 語の内部構造、語形成のパターン
9. 統語論(1) 分野の概観
10. 統語論(2) 文構造とそのパターン
11. 意味論(1) 分野の概観
12. 意味論(2) 語の意味と文の意味の関連
13. 語用論(1) 分野の概観
14. 語用論(2) 言葉の意味と話し手の意図
15. 振り返り

授業の方法

講義を聞き、学生間のコミュニケーションなどを通してワークシートを完成させる。自身の考えや調べたことを発表する。

準備学修

授業前にはテキストの指定された箇所を読み予習を行う。また、授業後にはハンドアウトで授業内容を復習した上で再度テキストを読み返し理解を深める。

課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき出席点より4点減点する。遅刻・早退も減点対象。

テキスト

稲木昭子、堀田知子、沖田知子『新・えいご・エイゴ・英語学』(松柏社)
その他適宜プリントを配布

参考図書

影山太郎、日比谷潤子、ブレント デ・シェン 著『First Steps in English Linguistics 英語言語学の第一歩』(くろしお出版)

留意事項

クラスへの積極的参加、予習・復習が求められる。

教員連絡先

saeki@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

基幹科目〈英語・言語・文化〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
児童文学	ET		13501	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子／箕野 聡子	選択	2	私立中学高等学校教員(科目「社会」)(箕野) 私立中学高等学校教員(科目「英語」)(宮副)			

授業の到達目標

初等国語の一貫として、児童文学を学ぶことにより、文化におけることも観を理解するとともに、文学作品の読解力を養うことを目的とする。このクラスではKAISEIパーソナリティーのI(知性)を養う。(箕野)

すぐれた児童文学は普遍的テーマを有しており、子どもだけでなく大人にも深い感動を与えてくれる。海外の代表的な児童文学を鑑賞することにより、様々な視点から文学を読解する力を養うことを目的とする。KAISEIパーソナリティーのA(自律)とI(知性)、In(国際性)を養う。(宮副)

授業の概要

日本の近現代児童文学を取り上げる。日本の児童文学は、初めは大人の側に立ったものであった。そこには、発表当時の日本文化が反映され、大人が子どもに求めた理想がわかりやすい言葉で表現されている。児童文学がそのような観念から脱し、子どもの世界を獲得していく様子を考察する。(箕野)
児童文学の歴史を学びながら英米の代表的な児童文学作品について考察する。また英米以外では、フランスの1作品を鑑賞する。(宮副)

授業計画

1. 巖谷小波「日本昔噺其一桃太郎」
2. 浜田広介「泣いた赤鬼」
3. 宮沢賢治「注文の多い料理店」
4. 坪田譲治「河童のはなし」
5. 有島武郎「一房の葡萄」
6. 与謝野晶子「きんぎょのおつかい」
7. 松谷みよ子「貝になった子供の話」
8. まとめと試験
9. ジョナサン・スウィフト『ガリバー旅行記』
10. ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』とナーサリーライム
11. R.L. スティーブソン『宝島』
12. L.F. ボーム『オズの魔法使い』
13. L.M. オルコット『若草物語』
14. ベアトリクス・ポター『ピーターラビットのおはなし』と代表的な絵本

15. アントワーズ・ド・サン＝テグジュペリ『星の王子様』

授業の方法

講義中心の授業である。必要に応じて映像作品の鑑賞も行う。

準備学修

Web参照すること。

課題・評価方法

平常点70%、定期試験30%で評価する。また、毎回ノートの提出を求める。ノートは、次の週に教員が評価して返却する。

欠席について

規定に従う。

テキスト

随時、プリントを配布する。(箕野)
『たのしく読める英米児童文学』本多英明/桂宥子/小峰和子編著 ミネルヴァ書房(宮副)

参考図書

必要に応じて、授業中に随時紹介する。

教員連絡先

mino@kasei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

展開科目〈英語・言語・文化〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Oral Communication 500	秋/a/b	13939	Ⅱ/Ⅲ	秋／春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
Andy RUSHTON/James C. JENSEN/Cory McKENZIE	選択	2			

授業の到達目標

Upon completion of this course, students will be able to :

- participate in group discussions and interviews
- identify main ideas and supporting details from listening materials and prepare spoken and written summaries
- make inferences and give advice
- ask for and give reasons and supporting opinions
- identify facts and opinions
- demonstrate increasing conversation skills in common real-life situations, using appropriate vocabulary
- prepare and deliver two 3-5 minute classroom presentations focusing on preparation, organization, and use of PowerPoint and other visual aids

In this class, students will develop a sense of internationality and autonomy.

授業の概要

The purpose of this class is to develop both listening and speaking skills in a variety of situations. Some specific topics of discussion may include leisure activities, jobs, daily routines, and special days.

授業計画

1. Introduction
2. Unit 1 Leisure and Sport
3. Unit 1 Leisure and Sport
4. Unit 2 Firsts and Lasts
5. Unit 2 Firsts and Lasts
6. Review
7. Presentations
8. Mid Term
9. Unit 3 Work and Rest
10. Unit 3 Work and Rest
11. Unit 4 Special Days
12. Unit 4 Special Days
13. Review
14. Presentations

15. Presentations

授業の方法

Students will work together in pairs and groups.

準備学修

Be familiar with the textbook: preview and review

課題・評価方法

Your final grade will be determined using the following scale:

- Final Exam 20%
- Tests and Quizzes 10%
- Presentations 40%
- Class Participation 20%
- Homework 10%

欠席について

100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Longman Cutting Edge Pre-Intermediate, 3rd ed. Sarah Cunningham, Chris Redston with Peter Moor

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation in class is essential

展開科目〈英語・言語・文化〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Reading 501	秋/春	13941	Ⅱ/Ⅲ	秋／春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
宮副 紀子	選択	2			

授業の到達目標

Locate and understand main ideas and details, show increasing ability to understand readings using skills such as skimming, scanning, and pronoun reference. Write main idea sentences. Express opinions about readings. Develop intelligence and autonomy.

授業の概要

The purpose of this class is to develop vocabulary skills and reading, including skimming and scanning, taking notes, predicting, and cause and effect.

授業計画

1. Introduction
2. Chapter 1 Answering 6 Common Interview Questions
3. Chapter 1 Answering 6 Common Interview Questions
4. Chapter 2 Young Women Changing the World
5. Chapter 2 Young Women Changing the World
6. Chapter 3 Student Learning Teams
7. Chapter 3 Student Learning Teams
8. Mid Term
9. Chapter 4 Learning to Speak
10. Chapter 4 Learning to Speak
11. Chapter 5 The Man in the Moon Has Company
12. Chapter 5 The Man in the Moon Has Company
13. Chapter 6 Culture Shock
14. Chapter 6 Culture Shock
15. Review

授業の方法

Students will work individually, in pairs and in groups

準備学修

Be familiar with the textbook: preview and review

課題・評価方法

Your final grade will be determined using the following scale:

- Final Exam 40%
- Tests and Quizzes 30%
- Class Participation 20%
- Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Oxford Select Readings Intermediate, 2nd.edition. Linda Lee & Erik Gundersen
Oxford Bookworms A Tale of Two Cities by Charles Dickens retold by Ralph Mowat

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

展開科目〈英語・言語・文化〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Oral Communication 600	a/b	13947	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
Cory McKENZIE／Andy RUSHTON	選択	2			

授業の到達目標

Upon completion of this course, students will be able to :

- participate in group discussions and interviews
- lead a group discussions
- agree and disagree with opinions
- ask for and give clarification
- use a variety of intonation and word stress for key words
- demonstrate increasing conversation skills in common real-life situations, using appropriate vocabulary
- prepare and deliver two 3-5 minute classroom presentations focusing on preparation, organization, and use of PowerPoint and other visual aids

In this class, students will develop a sense of internationality and autonomy.

授業の概要

The purpose of this class is to develop both listening and speaking skills in a variety of situations. Some specific topics of discussion may include city life, equipment, accidents and injuries, and survival items.

授業計画

1. Introduction
2. Unit 8 Places to Live
3. Unit 8 Places to Live
4. Unit 9 Old and New
5. Unit 9 Old and New
6. Review
7. Presentations
8. Mid Term
9. Unit 10 Take Care
10. Unit 10 Take Care
11. Unit 11 The Best Things
12. Unit 11 The Best Things
13. Review
14. Presentations
15. Presentations

授業の方法

Students will work together in pairs and groups.

準備学修

Be familiar with the textbook: preview and review

課題・評価方法

Your final grade will be determined using the following scale:

- Final Exam 20%
- Tests and Quizzes 10%
- Presentations 40%
- Class Participation 20%
- Homework 10%

欠席について

100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Longman Cutting Edge Pre-Intermediate, 3rd ed. Sarah Cunningham, Chris Redston with Peter Moor

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation in class is essential

展開科目〈英語・言語・文化〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Reading 601	a/b	13949	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
後藤 江里／宮副 紀子	選択	2			

授業の到達目標

Locate and understand main ideas and details, show increasing ability to understand readings using skills such as skimming, scanning, and pronoun reference. Write main idea sentences. Express opinions about readings. Develop intelligence and autonomy.

授業の概要

The purpose of this class is to develop vocabulary skills and reading, including skimming and scanning, taking notes, predicting, and cause and effect.

授業計画

1. Introduction
2. Chapter 8 A Young Blind Whiz
3. Chapter 8 A Young Blind Whiz
4. Chapter 9 How to Make a Speech
5. Chapter 9 How to Make a Speech
6. Chapter 10 Conversational Ball Games
7. Chapter 10 Conversational Ball Games
8. Mid Term
9. Chapter 11 Letters of Application
10. Chapter 11 Letters of Application
11. Chapter 12 Out to Lunch
12. Chapter 12 Out to Lunch
13. Chapter 13 Public Attitudes Toward Science
14. Chapter 13 Public Attitudes Toward Science
15. Review

授業の方法

Students will work individually, in pairs and in groups

準備学修

Be familiar with the textbooks: preview and review

課題・評価方法

Your final grade will be determined using the following scale:

- Final Exam 40%
- Tests and Quizzes 30%
- Class Participation 20%
- Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Oxford Select Readings Intermediate, 2nd.edition. Linda Lee & Erik Gundersen
Oxford Bookworms Treasure Island by Louis Stevenson retold by John Escott

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

資格科目〈キッズ・イングリッシュ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語科教育法Ⅱ	ET		13709	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	選択	2	私立中学高等学校教員（科目「英語」）			

授業の到達目標

中学校・高等学校における英語学習・指導の知識、授業指導の基礎及び異文化理解を、次に続く英語科教育法Ⅲ・Ⅳの授業との連携も視野に入れて徹底する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK(思いやり)、I(知性)、In(国際性)、E(倫理)を学ぶ。

授業の概要

学習指導要領における「3つの資質・能力」の養成を重要な柱と位置づけ、以下(授業計画)の具体的項目に関して教育法の鳥瞰図的全体像を示し、学生の自覚・理解を促す。

授業計画

1. はじめに: 授業の概要について
2. 学習指導要領の理解
3. 英語の指導目標と内容
4. 学習者の要因
5. 言語習得の理論と諸問題
6. 発音の指導
7. 文字と綴りの指導
8. 語彙表現、文法の指導
9. リスニングの指導
10. スピーキングの指導
11. リーディングの指導
12. ライティングの指導
13. 言語技術を統合した指導
14. 異文化理解
15. 総括(複数領域を統合した言語活動の指導を中心に)

授業の方法

講義のほかに各自の発表を多く取り入れる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法

課題：講義のテーマによってはレポート作成を課し、講義中、ある

いは個人指導においてフィードバックを行う。

評価方法：平常点30%、定期試験70%

授業中の積極的な質疑応答を高く評価する。

欠席について

欠席・遅刻については一定の比率で減点する。

テキスト

土屋澄男・広野威志『最新英語科教育法入門』研究社

参考図書

白井恭弘『外国語学習の科学—第二言語習得論とは何か』(岩波書店)

中学校学習指導要領解説 外国語編 [最新版] (文部科学省)

高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編 [最新版] (文部科学省)

その他、必要に応じて、随時紹介する。

留意事項

課題担当者は、発表の内容のみならず、プレゼンテーションの方法も工夫すること。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

資格科目〈キッズ・イングリッシュ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
キッズ・イングリッシュⅠ	ET		13725	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
高田 悦子	選択	2				

授業の到達目標

小学校外国語教育における背景知識や教材、多様な指導技術、評価などを、小学校の役割及び中・高等学校の外国語教育との連携を視野に入れて身に付ける。

このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK(思いやり)の育成を目指す。

授業の概要

小学校学習指導要領における「5つの領域」の指導及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法指導について、児童期の学習者の特性と英語授業の在り方を踏まえた知識と技術を以下の「授業計画」の具体的項目に従って身に付ける。

授業計画

1. 小学校外国語教育の目標・内容(1)年間指導計画と小中高連携
2. 小学校外国語教育の目標・内容(2)教材研究と学習指導案作成法
3. 小学校外国語教育の目標・内容(3)ICTの効果的な活用法
4. コミュニケーション能力を育成する指導法 ティームティーチング
5. コミュニケーション能力を育成する指導法 発話を促す活動
6. 小学校英語教材研究(1)音声習得中心の活動
7. 小学校英語指導法(ワークショップ)(1)音声習得中心の活動
8. 小学校英語教材研究(2)文字習得中心の活動
9. 小学校英語指導法(ワークショップ)(2)文字習得中心の活動
10. 小学校英語教材研究(3)表現形式に焦点を当てた活動
11. 小学校英語指導法(ワークショップ)(3)表現形式に焦点を当てた活動
12. 小学校英語教材研究(4)言語使用の場面・背景(物語)に焦点を当てた活動
13. 小学校英語指導法(ワークショップ)(4)物語の場面・背景に焦点を当てた活動
14. 小学校英語 模擬授業
15. Can-Doによる英語能力の測定とパフォーマンス評価、模擬授業の振り返り

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法

平常点30%、プレゼンテーション30%、定期試験40%

テキスト

英語科教育のフロンティア—充実した実践を目指して—(青木昭六編著、保育出版社)

小学校英語の教育法 理論と実践(アレン玉井光江、大修館書店)

参考図書

小学校学習指導要領解説 外国語編 [最新版] (文部科学省)

その他、必要に応じて、随時紹介する。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等音楽2	①/②/③/④	17421	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
由井 敦子／南 夏世	選択	2			

授業の到達目標

幼児・児童の豊かな感性と表現を育むために、実践に必要な音楽の基礎的能力を高めることがねらいである。子どもの発達や現代の環境をふまえ、幅広い表現活動が展開できる保育者・指導者を目指し、「楽典」「歌唱・弾き歌い」「ピアノ演奏」を軸に、個人の音楽技能を伸ばす。
このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を身につける。

授業の概要

「楽典」については、コード学習に加え、調性やカデンツの学習と演習を重ねる。「歌唱・弾き歌い」については、弾き歌いのレパートリーを増やすとともに、楽曲にふさわしい伴奏型でコード奏ができるように演習する。さらに、「ピアノ演奏」については、各自の進度に応じたピアノ曲を、表情豊かに演奏できるようにピアノ技能を高めていく。その際、各自の目標として定められている曲数を合格しなければならない。

授業計画

- 1.コード復習。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 2.調性とカデンツ。弾き歌いと進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 3.調性とカデンツ。弾き歌いと進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 4.調性とカデンツ。弾き歌いと進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 5.調性とカデンツ。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 6.調性とカデンツ。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 7.調性とカデンツ。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 8.コード伴奏と実演。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 9.弾き歌い演習。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 10.弾き歌い演習。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 11.弾き歌い演習。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 12.こどもの発達と歌唱教材。連弾。
- 13.こどもの発達と歌唱教材。連弾。
- 14.様々な表現活動について。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 15.様々な表現活動について。進度に応じたピアノ個人レッスン。

授業の方法

前半は音楽の基礎学習と歌唱・弾き歌い等の演習をクラス全体で行い、後半はピアノの個人レッスンを行う。

準備学修

Webを参照すること

課題・評価方法

- ①毎時間ピアノレッスンを行い、フィールドバックを行う。
- ②平常点70% 定期試験30%
定期テストは、ピアノ演奏、弾き歌い、筆記の3項目を実施する。授業内で行われる連弾・コード等の小テストは平常点に反映する。
- ③個人の進度に応じて与えられた課題を終えなければ定期試験を受けることはできない。

欠席について

欠席回数が評価に大きく関与する。5回を越えると単位修得できない。

テキスト

「マイレパートリー」(YAMAHA MUSIC MEDIA)
ピアノテキスト「大学ピアノ教本」「ブルグミュラー25の練習曲」「ソナチネアルバム1」等は各自の進度に応じて使用する。

参考図書

授業内で随時提示する。

留意事項

必要に応じてクラス再編成を行う。
配布する「個人カード」に各自の進度を記入し、毎回持参すること。これがなければテストを受けられない。
授業の前には、必ず爪を切っておくこと。

教員連絡先

minami@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワー、またはピアノ補講時間を活用すること。
日時については、教務課前掲示板を確認すること。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
児童文学	PC	17437	II	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
箕野 聡子／宮副 紀子	選択	2	私立中学高等学校教員（科目「社会」）（箕野） 私立中学高等学校教員（科目「英語」）（宮副）		

授業の到達目標

初等国語の一貫として、児童文学を学ぶことにより、文化におけるこども観を理解するとともに、文学作品の読解力を養うことを目的とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。（箕野）

すぐれた児童文学は普遍的テーマを有しており、子どもだけでなく大人にも深い感動を与えてくれる。海外の代表的な児童文学を鑑賞することにより、様々な視点から文学を読解する力を養うことを目的とする。KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）、In（国際性）を養う。（宮副）

授業の概要

日本の近現代児童文学を取り上げる。日本の児童文学は、初めは大人の側に立ったものであった。そこには、発表当時の日本文化が反映され、大人が子どもに求めた理想がわかりやすい言葉で表現されている。児童文学がそのような観念から脱し、子どもの世界を獲得していく様子を考察する。（箕野）
児童文学の歴史を学びながら英米の代表的な児童文学作品について考察する。また英米以外では、フランスの1作品を鑑賞する。（宮副）

授業計画

- 1.巖谷小波「日本昔噺其一桃太郎」
- 2.浜田広介「泣いた赤鬼」
- 3.宮沢賢治「注文の多い料理店」
- 4.坪田譲治「河童のはなし」
- 5.有島武郎「一房の葡萄」
- 6.与謝野晶子「きんぎょのおつかい」
- 7.松谷みよ子「貝になった子供の話」
- 8.まとめと試験
- 9.ジョナサン・スウィフト『ガリバー旅行記』
- 10.ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』とナーサリーライム
- 11.R.L.スティーブenson『宝島』
- 12.L.F.ボーム『オズの魔法使い』
- 13.L.M.オルコット『若草物語』
- 14.ベアトリクス・ポター『ピーターラビットのおはなし』と代表的な絵本

- 15.アントワーン・ド・サン＝テグジュペリ『星の王子様』

授業の方法

講義中心の授業である。必要に応じて映像作品の鑑賞も行う。

準備学修

Web参照すること。

課題・評価方法

平常点70%、定期試験30%で評価する。また、毎回ノートの提出を求める。ノートは、次の週に教員が評価して返却する。

欠席について

規定に従う。

テキスト

随時、プリントを配布する。（箕野）
『たのしく読める英米児童文学』本多英明/桂宥子/小峰和子編著 ミネルヴァ書房（宮副）

参考図書

必要に応じて、授業中に随時紹介する。

教員連絡先

mino@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認すること。